

早春の味覚を堪能

なごみ茶屋で「寒ざらしそば」試食会

3月15日、材木岩公園内の検断屋敷で「寒ざらしそば」の試食会が開催されました。寒ざらしそばは、大寒の日から約2週間、蔵王の清流に浸したそばの実から作ったもの。冷たい水に浸すことでアクが抜けて甘みが増すこと、ツルツとした喉ごしが良いことが特長です。この日は、そばの実の仕込み作業を行ったそば屋の店主や白石市、小原地区などの関係者約50人が出席。普通のそばとの食べ比べをしながら、そばの香りと味を堪能していました。市内では材木岩公園内のなごみ茶屋で提供されていますので、ぜひご賞味ください。



▲寒ざらしそばに舌鼓を打つ出席者たち

悪い人に気をつけよう！

白石第二幼稚園で防犯教室

2月21日、県内でヒーローショーや防犯・交通安全教室などで活動する「破牙神ライザー龍」が白石市第二幼稚園を訪れ、約70人の園児たちと防犯教室を行いました。この教室は、園児に「悪い人（不審者）」について知ってもらい、犯罪に巻き込まれないよう学んでもらおうと、同園が初めて開催したもの。この日はパネルを使いながら「外で1人で遊ばない」「助けてと叫んで、走って逃げる」など、園児との掛け合いを通して、命を守るためのポイントを教えてくれました。園児は「知らない人についていけないようにしたいです」と話してくれました。



▲ヒーローの言葉に真剣に耳を傾ける園児たち

障害を乗り越えて、夢への挑戦

越河小学校で車いすバスケットボール体験

3月7日、車いすバスケットボールチーム「宮城MAX」の岩佐義明監督と藤本怜央選手が越河小学校を訪れ、児童約50人との交流会を行いました。児童は車いすに乗ってのシュートやミニゲームなどを体験。慣れない車いすの操作に悪戦苦闘しながら楽しんでいました。藤本選手は、同競技のパラリンピックに4大会連続出場している国内トップレベルの選手。藤本選手は児童に「障害があってもできないことばかりではないし、車いすバスケットボールに出会えて感謝しています。どんな時でも夢や目標に挑戦してほしいです」と語りました。



▲ミニゲームを楽しむ藤本選手と児童たち

白石産のリンゴを全国に発信！

菊地哲夫さんが地域特産物マイスターに認定

公益財団法人日本特産農産物協会の平成29年度「地域特産物マイスター」に、明治34年創業、寿丸果樹園4代目の菊地哲夫さん（寺屋敷前）が認定されました。地域特産物マイスターとは、同協会が地域特産物の栽培や加工技術などで長年の経験と優れた技術を持ち、地域の指導的な役割を担う人材を認定・登録する制度。県内のマイスターは4人で、本市では初の認定となりました。3月12日、認定品目の「葉とらず樹なり完熟りんご」を持参し、山田市長へ報告に訪れた菊地さんは「今後も白石産の特産物を全国に発信したい」と話していました。



▲地域特産物マイスターに認定された感想を話す菊地さん

さようなら 大好きな斎川小学校 ぼくたちは卒業します！

斎川小学校で最後の卒業式

明治6年に開校し145年の歴史ある斎川小学校で、3月15日最後の卒業式が行われました。この日卒業したのは、男子2人、女子1人の3人の児童。来賓や保護者、在校生に見守られる中、緊張した面持ちで入場した卒業生は、早坂雪男校長から卒業証書を受け取ると、ひとりひとり将来の夢を大きな声で発表。校長式辞では、「斎川の自然、歴史、風物を学び、自分の育ってきた地域を知ること、これから広い世界に羽ばたいていく皆さんにとって基礎となる力です。地域に、自分に自信を持って前に進んでいってください」と卒業生を激励。卒業生は、6年間の学校生活を振り返りながら堂々と別れのことを述べ、在校生と一緒に歌を歌いました。

地域に見守られ斎川小学校を巣立っていった児童数は、この日卒業した3人を含め2017人。卒業生は「みんなと一緒に合宿をしたことが1番の思い出です」「学校が最後となり寂しいところもあったけど、笑顔で卒業式ができたので良かったです」と話してくれました。

3人は、斎川小学校での思い出を胸に、4月からそれぞれ新しい道を歩んでいきます。

1・3 将来の夢を堂々と発表した卒業生 2 大勢の地域の方に見守られながら3人に卒業証書が手渡された 4 下級生とともに歌う最後の時間。きれいなハーモニーが会場に響き渡る



100歳おめでとうございます

保科ふくさんに松竹梅敬老祝金

2月25日に100歳を迎えた保科ふくさんを山田市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を送り長寿を祝いました。ふくさんは丸森町のお生まれ。白石の斎川に嫁ぎ、毎日田畑で仕事に励んでいました。冬場でも名産の凍み豆腐作りをしており、年中休み無く働いていたそうです。施設に入所して4年目になるふくさんは、入所者と一緒に童謡などを歌ったり、洗濯物をたたむ仕事を手伝ったりして楽しく過ごしているそうです。長生きの秘訣は、暴飲暴食せず体を適度に動かし、ストレスをため込まないことではないかと家族が話してくれました。



▲祝詞を手に笑顔のふくさん（右）と山田市長

白石の魅力を引き出す若者！

「白石市地域おこし協力隊」現地見学ツアー

2月16日と3月3日、「白石市地域おこし協力隊」現地見学・説明ツアーを行いました。このツアーは、同協力隊への応募を検討している方を対象に、現地で白石の魅力や地域の資源を体感してもらおうと企画したもの。参加者はまち歩きをしながら、現在改装中の「白石市移住交流サポートセンター」や商店街、歴史的施設などを見て回りました。参加者は「川で羽を休めるカモに驚きました」「景観や建物など、あちこちに風情を感じました」と話してくれました。同協力隊は4月以降に着任し、同センターを拠点に活動を始める予定です。



▲沢端川沿いを歩く参加者とスタッフ